

令和5年度京田辺市大学連携地域貢献研究事業実績報告書

●研究課題名 京田辺市における縁農ネットワーク形成
～都市農地で育てる特産物と人財～

●研究者名 摂南大学農学部応用生物科学科 特任助教 沼本 穂
専任講師 田中 茂幸
食農ビジネス学科 准教授 中塚 華奈
国際学部国際学科 特任講師 小林 基

●研究期間 2023年4月1日～2024年3月31日

●研究の概要（背景・目的等）

京田辺市は1980年代より、「緑豊かな文化田園都市」という標語をマスタープランに掲げ、都市と農村、自然と社会とが併存・調和した地域の創造・発展を目指してきた。現在に至るまで人口が7万人以上になり、今後も増加し続ける一方、農村的性質が色濃いエリアでは高齢化が進みつつあり、未耕作地の増加をはじめとする農業および地域衰退が懸念される。我われ研究チームは、2022年4月より「令和4年度京田辺市大学連携地域貢献研究事業」の助成を受け、農と食を活用した市民主導型まちづくりをテーマに、研究および地域貢献活動を展開してきた。2022年度の活動の結果、クラフトビールの試作品製造の実現、マコモタケの試験生産の実現と生産にかかる課題の解明、地域内外の諸主体との関係構築などの大変有意義な成果が得られた。一方、研究活動は未だ途上であるほか、これを推進する中で多数の課題にも直面している。

2023年度は、昨年までの活動の成果と課題を踏まえ、(1)製品化に向けた栽培・加工実験の継続のほか、(2)マーケティングと販路形成、(3)ネットワーク構築とソーシャル・ビジネスモデル実装に向けた準備を推進した。

●研究の内容（方法・経過等）と得られた研究の成果

クラフトビールの醸造および原料である大麦の栽培拡大

昨年度に試験醸造したクラフトビールのお披露目会を澤井家住宅で行った。約100人の関係者が参加し、ビールの試飲をした。また、6月のマルシェで一般の方に試飲してもらい、アンケート調査を行った(図1)。調査の結果では、「飲みやすい」「すっきりしている」など概ね好印象な意見をいただいた。また、「地域の繋がってほしい」、「地元のビールができる

とうれしい」といった激励の言葉をいただくことができた（図 2）。

大麦の栽培に関しては、2022 年に大住地区の圃場約 12 a に種まきをして 2023 年 5 月に収穫を行った（図 3）。また、2023 年 11 月に約 20 a に種まきを行い、2024 年 5 月に収穫予定である（図 4）。

マコモタケの栽培試験と普及活動

2023 年 6 月に大住地区の水田で 2 品種のマコモタケ（岡山株 24 株、シラカワ 16 株）を栽培し、10 月～11 月にかけて収穫を行った。植え付け後、米ぬかを水田にまくことで除草効果を得られたほか、化学肥料の使用量の削減につながった。栽培にあたり、株間を 2 m 間隔にすることで、除草をトラクターで行うことができ、手間を大幅に省くことができた。マコモタケの収穫には、同志社の学生や三山木まちづくり協議会「お花くらぶ」のメンバーに協力を得た（図 5）。

また、マコモタケの普及活動において、南部まちづくりセンターで同志社大学の学生が開いている「Good Job カフェ」カレーの具材としてマコモタケを提供した（図 6）。

縁農ネットワーク形成のための活動

2021 年より「京田辺農福観地域づくり協議会」のメンバーを中心に活動してきたものを市の広報誌やInstagramをはじめとする SNS を活用して市民参画に呼びかけたほか、摂南大学や同志社大学などの学生ボランティアの参集も得て活動できた。

また、南部まちづくりセンター（ミライロ）を拠点にする団体やプロジェクトとのコラボレーションに向け、関係者とのミーティングを実施したり、本学での研修を行った（たとえば「お花くらぶ」との本学薬草園での研修会など）。摂南大学の学生たちには、イベントへの参加やボランティアとして、これら団体の活動に協力した。

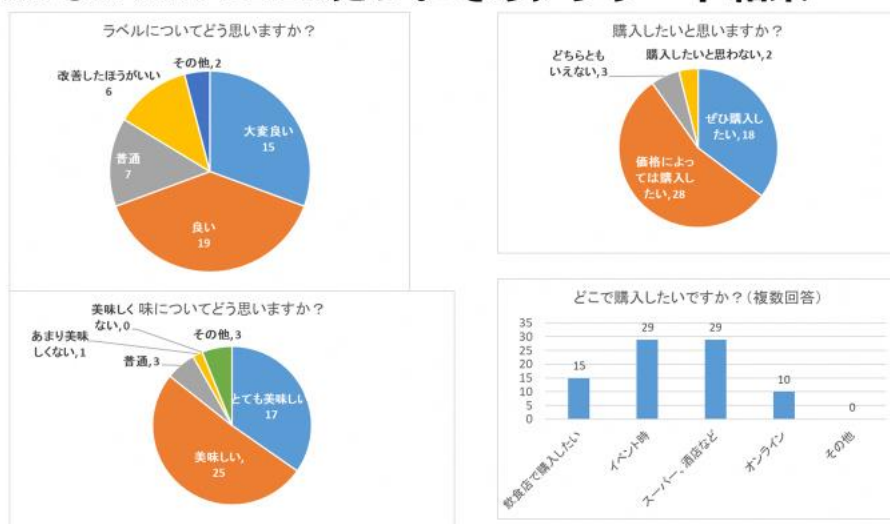
本プロジェクトについて 2023 年 8 月に北部住民センターで開催しているふれあいセミナーでの講演や、2024 年 3 月に本学で開催されたネットワークシステムの定例会での発表を行い、市内外に本プロジェクトの PR 活動を行った。

● 具体的データ等



図 1. 2023 年 5 月 14 日に開催したクラフトビール試作品のお披露目会の様子

KYOTANA BEERについてのアンケート結果



その他ご意見・ご感想（一部）

ポジティブなコメント

- ・ラベルがオシャレ
- ・飲みやすい
- ・ホップの味が良く、後味スッキリ
- ・ホップが強めでバランスがいい
- ・香りがいい

ネガティブなコメント

- ・もう少しコクが欲しい
- ・苦味が強くて辛い
- ・ラベルは、もう少し明るい感じが良い
- ・ラベルに京田辺らしい何かのイラストを載せたほうが良い

激励のお言葉

- ・地域の活性化に繋がって欲しい!若者が頑張ってくれてると思うと嬉しいです。
- ・京田辺が誇る地ビールとして発売されると嬉しいです！

図 2. クラフトビールアンケート結果



図 3. 2023 年 5 月 大麦収穫の様子



図 4. (左) 2023 年 11 月 種まき、畝づくりの様子、(右) 2024 年 2 月麦踏の様子



図 5. マコモタケ栽培の水田と市民団体との収穫の様子



図 6. GOOD JOB カフェ特別メニューマコモタケカレー

●研究を通じての自己評価

ビール大麦の栽培やクラフトビールの製造は順調に進んでいる一方、生産の拡大において、麦芽製造や栽培の機械化、商品販売など新たな課題がでてきた。2024 年度はこれらの課題解決に向けて研究を進めていきたい。

マコモタケの栽培においても新たに京田辺市内農業者や京田辺市外で栽培している方と情報共有することができた。2024 年度は実際に京田辺市内農業者に栽培をしてもらい、普及活動と新たな課題を見つけていきたい。

市民の交流促進やレクリエーションの場を創出し、高齢者や子どもの健康増進や食農教育の推進、市民全体がまちづくりに参画するための契機となった。今後、地域活動への益々の貢献をつうじ、本プロジェクトに関する協力や啓発の輪を広げていく予定である。

●その他

2024 年 7 月 27 日（土）にランチ松井山手でビール祭りを予定しています。ぜひご参加ください。